

2-01.

山陰道

SAN-IN EXPRESSWAY

×

阿武町

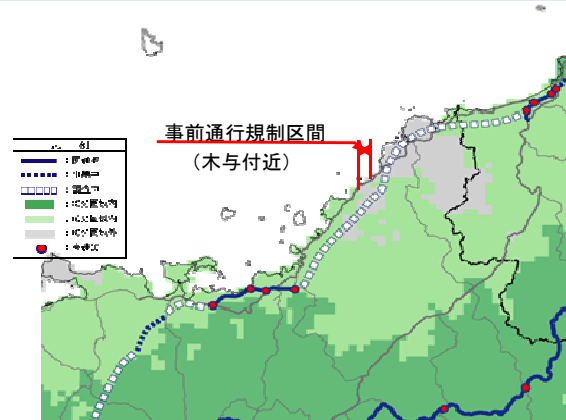
Abu Town

■事前通行規制区間の解消

■救急医療・高次医療サービスの向上

現状

- ・国道191号の木与付近は、事前通行規制区間（連続雨量200mm）があり、豪雨、土砂災害により全面通行止めや片側通行規制が発生しており、多くの利用者の大きな負担となっている。
- ・また、この事前通行規制により、医療機関への通院や救急医療に支障をきたしており、生活に不安を訴える声が数多く寄せられている。



発生年度	件数	概要
H21	1	事前通行規制
H22	1	土砂流出
H23	3	事前通行規制
H24	1	事前通行規制
H25	2	事前通行規制
合計	8	



事前通行規制区間の写真

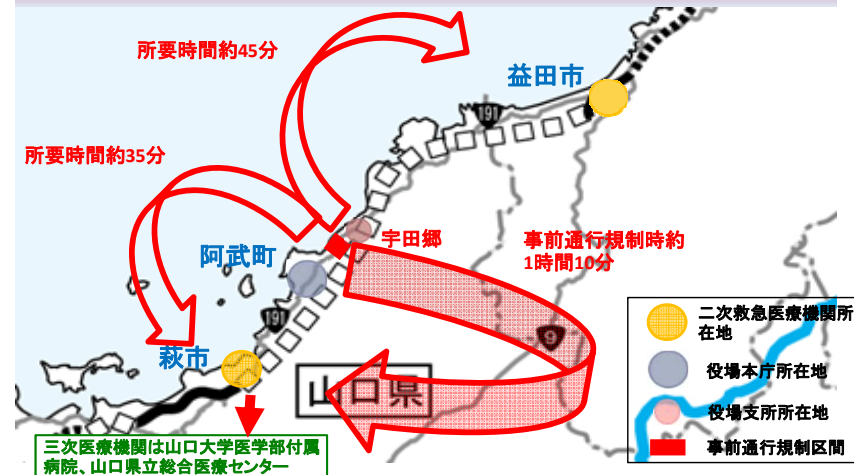
地域の声(新聞報道、大会意見発表(H25年～))

- ・災害時に国道191号は通行止めとなり救命活動が遅れるので、もう1本道路が必要である。(救急救命士)
- ・災害・交通事故等で宇田～木与間が通行止めになった場合、通勤・通学・通院のため、迂回するのに1時間以上かかり大変困る。(地区住民)

整備効果

- ・山陰道の整備により国道191号の代替道路となるため、事前通行規制区間の解消に寄与する。
- ・山陰道の整備により救急医療等の救命活動の向上及び通勤・通学・通院等のサービスの向上が期待される。

第2次・第3次救急医療機関への搬送時間



事前通行規制箇所の土砂流出状況写真



宇田郷駅前越波状況写真

- 農水産物の販路の拡大に向けた取組
- 道の駅を核とした6次産業化や雇用の創出

現 状

- ・農水産物の特産品はあるものの交通の利便性が悪いため、道の駅、農協への出荷にとどまっている。
- ・農水産物の価格が低迷しているため、第1次産業の就業は高齢化で担い手不足となっている。

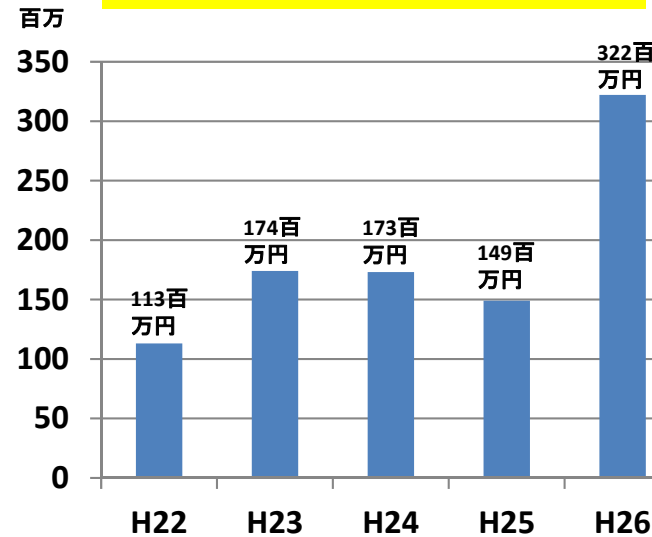
地域の声 (H26年基本計画策定のためのアンケート結果)

- ・優良な農水産物の都市部への運送の円滑化と利便性の向上が必要である。
- ・阿武町の特産品を開発し、道の駅において販売及びPR活動を行うことが必要である。
- ・道の駅を核にして1次産業がもっと発展して欲しい。
- ・付加価値の高い農水産物の生産販売が必要である。
- ・6次産業化による所得向上や雇用創出が必要である。

整備効果

- ・山陰道の整備により輸送時間短縮となり、付加価値の高い新鮮な農水産物を県内外に出荷することができるため、販路の拡大が期待される。
- ・また、豊かな食生活を支えるため、消費地への新鮮食材の供給ルートが確保される。
- ・山陰道の整備により道路ネットワークがより充実するため、ネット販売や産地直送の圏域が拡大される。
- ・山陰道の整備により県内外からの観光客の増加が見込まれ、道の駅等での消費が増えることにより農水産物の生産者の所得向上が期待される。
- ・また、生産から加工・販売まで行う6次産業化により雇用創出が期待される。
- ・阿武町ではH27年4月27日に農事組合法人、社会福祉法人の3者で農福連携協議会を設立し、障害者が農事組合法人の指導の下、農産物を生産し、加工・販売に取り組んでいる。今後は、大都市への販路開拓活動、都市住民を対象とした交流農園等の計画があり、山陰道を整備することにより農福連携の取組が促進されることが期待される。

道の駅「阿武町」のリニューアル後の売上



「道の駅阿武町」から全国へ発送



全国発祥の駅「道の駅阿武町」は、平成26年4月にリニューアルオープンしました。

阿武町の特産品



特定品種の無角和牛(山口県の一部しかいない)



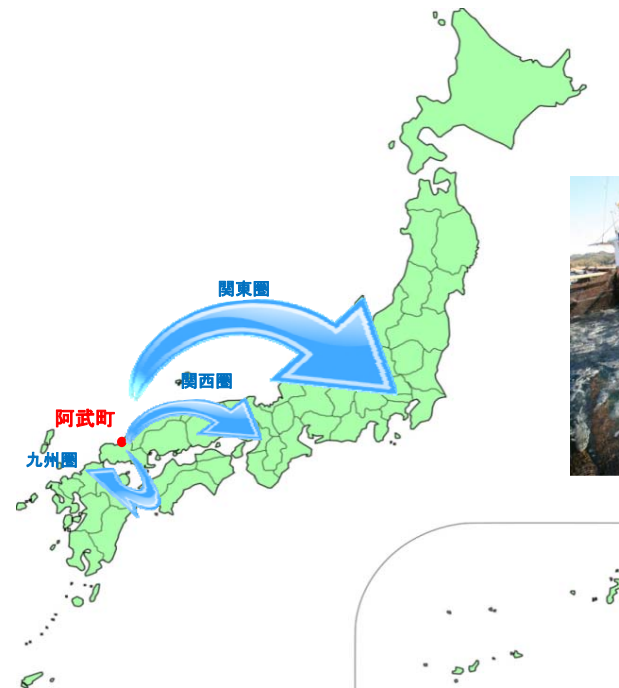
高級魚トラフグ



高級魚キジハタ



米



■自然環境の活用、新たな観光の創造 ■町の玄関、道の駅阿武町の観光拠点化

現状

・阿武町は、山口県の山陰側北部に位置し、紺碧の日本海や緑の山々などの自然環境をはじめ、多種多様な農林水産物に恵まれた町である。
しかし、山陽及び中国自動車道からのアクセスは悪く、近隣の最大都市圏である福岡市や広島市からの所要時間は3時間程度かかる状況にあり、観光客の呼び込みにも苦慮しているのが現状である。

地域の声

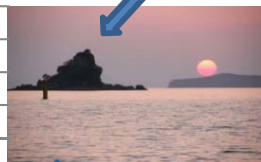
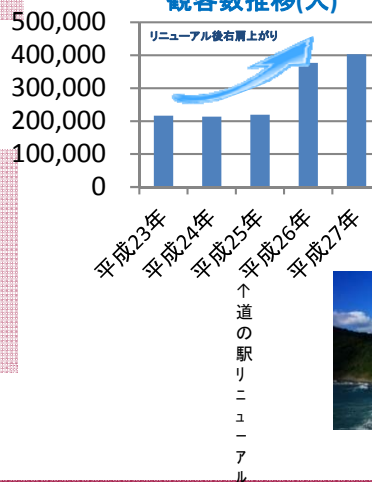
- ・町には、日本海の水産物や、米、野菜など美味しいものがたくさんある。遠くの方々にもぜひ味わっていただきたい。
- ・白砂青松の清ヶ浜海水浴場やJR山陰本線の惣郷鉄橋などの現在の名勝をはじめ、豊かな自然環境を活用した新たな観光地開発で町の活性化を図って欲しい。
- ・道の駅阿武町で地域の農林水産物をたくさん販売して町の活性化を図って欲しい。

整備効果

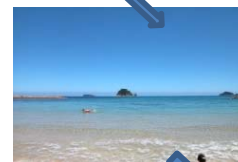
- ・都市圏からの移動時間短縮で入込客の増大が予想され、道の駅を通じた町の農林水産物や加工品等の販売拡大が期待される。
- ・町の玄関口に立地する道の駅阿武町を起点とした観光コース等の開発により、町内各地に新規飲食店などの新たな起業による町の活性化が期待される。



道の駅阿武町
観客数推移(人)



日本海の夕日



清ヶ浜



惣郷鉄橋



佐々木小次郎の遺髪墓

日本海の水産物に恵まれた町。潮の香りがたっぴり詰まった寒干しわかめ。幻の高級魚キンハタ！県内に阿武町生まれの種魚を放流しています。

とっても甘い福賀の梨。県内一の産地となっているキウイフルーツ。自然の恵みを活かした、美味しい手作りシヤム。こだわりの水で買った朝採り新鮮ほうれん草。1株に1個！福賀ミネラルスイカ。

バフウニ100%！素揚げや燻製で採取される粒ウニ。素材にこだわり焼き上げたあかき。

一つずつ丁寧に手作りされた豆腐。山口県のみで飼育されている無角和牛。

みつかな阿武町産

定住(ともに築く定住のまちづくり)

【阿武町】

- UIJターンを推進し、人口減少に歯止めをかける
- 定住したくなる環境づくり

現状

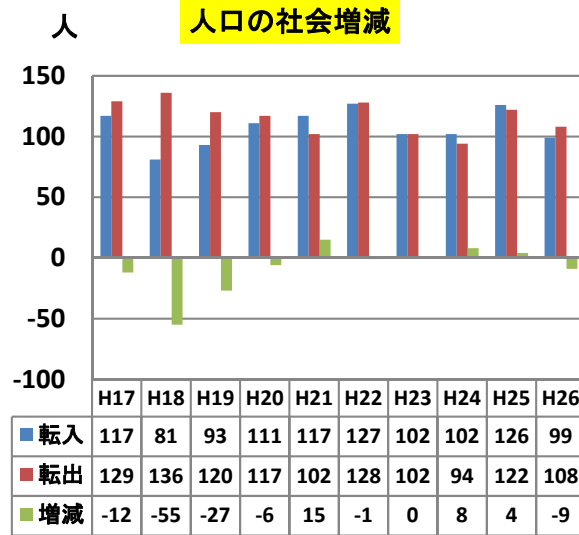
- ・多くの人が阿武町は住みやすく、就きたい仕事があれば、地元で暮らしたいと答えているが、高校卒業後、就職や進学で県内外に転出している。
- ・阿武町は恵まれた農地や漁場を背景とした一次産業が盛んであるが、従事者に占める若年層の割合が極めて低い。
- ・「空き家バンク」の開設により、人口の社会増減が横ばいで推移している。
- ・人口減少に歯止めをかけるため、分譲宅地の造成・販売、空き家バンクの活用、町営住宅の整備、子育て・住宅改修等定住促進支援対策を図っている。

地域の声 (H26年基本計画策定のためのアンケート結果)

- ・阿武町は住みやすい町と回答した人が86%いる中で、将来も住み続けたいと回答した人は59%となっている。(中高生)
- ・車で安心していけるよう風水害に強い道路整備をお願いする。(阿武町出身者)
- ・阿武町が発展するためには北浦海岸を結ぶ高規格道路の整備が必要である。(阿武町出身者)

整備効果

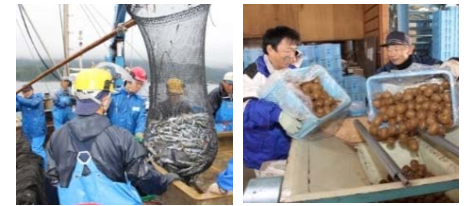
- ・地方版総合戦略の1つに、町外との交流人口を増やすとともに、町内の活動人口増加を目的とした「阿武町式花嫁・花婿修行プロジェクト」という都市部と地方を新たな親子関係でつなぐプロジェクトがあり、山陰道の整備により、その達成が一層期待される。
- ・山陰道の整備により交通の利便性が向上し、阿武町に定住する人口の増加が期待される。
- ・現在は、1時間程度の範囲内での通勤・買い物等を行っているが、山陰道の整備により同じ時間でも移動範囲が拡大することで選択肢が増え、定住による人口増が期待される。
- ・また、県外からの移住希望者に対し、交通の利便性についてPRでき、定住促進につなげられる。



多様な住まいを提供

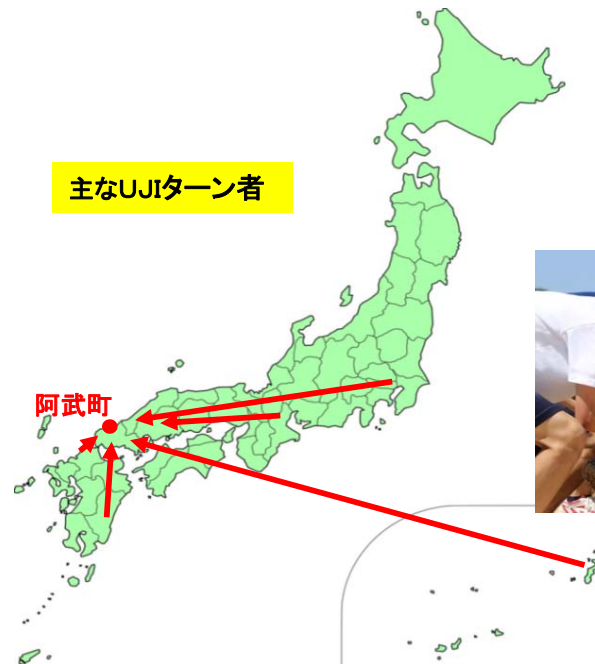


移住希望者のスムーズな移住の実現



移住直後からのスムーズな生活

主なUIJターン者



将来はふるさとで働きたいと考える高校生



都市部との交流人口の増大

2-02.

山陰道

SAN-IN EXPRESSWAY

×

萩市

Hagi City

観光

◆中国地方山陰地域の観光資源を結ぶ新たな観光ルートを開発による周遊性の向上

現状

- 中国地方山陰地域には、山口県萩市の「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」と、島根県大田市の「石見銀山」の2つの世界遺産がある。
 - 萩市は日本ジオパーク認定に取組み、美祢市は日本ジオパークに認定、鳥取県鳥取市などは、ユネスコ世界ジオパークに認定されている。
 - 萩市は「萩まちじゅう博物館構想」を推進し「萩物語（ストーリー）」に、じっくりと触れる「学ぶ観光」を推進する観光地である。また、島根県津和野町は「日本の文化・伝統を語るストーリーとして「日本遺産」に認定された観光地である。
 - 3方を海に囲まれる山口県は、海外・国内のクルーズ船が寄港する。寄港後は、山陰地域の主要観光地をバスで移動する周遊観光の拡充が望まれる。
- ⇒しかしながら、2つの世界遺産、2つのジオパークを中心とした山陰地域の観光資源は点在し、これらを巡るツアーは、資産間の移動に長時間を要するため組みにくい。

地域の声

- 首都圏などから観光やビジネスで山陰地域を訪れた方からは、アクセスが不便だと言われる。山陰道が繋がれば、観光分野では、新たな観光ルートの創出が可能となる。
- 山陰道の整備は、地域間交流の促進、活性化など、地域経済に大きな効果が期待できる。【平成27年度山陰自動車道（益田～萩間）整備促進決起大会 意見発表抜粋】

整備効果

- 中国地方山陰地域に点在する歴史・文化・自然の観光資源を結ぶ山陰道の整備により、山陰地域を周遊する新たな観光ツアー・滞在型交流観光商品の開発が可能となる。

山陰道を活用した広域的な観光交流ネットワークの実現



◆世界文化遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」を構成する萩の5資産を活用した「学ぶ観光」の拠点となる「萩・明倫学舎（仮称）」の開設による新たな観光戦略

現状

■萩市には、「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」といわれるほどの城下町の町並みや、世界文化遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」を構成する5資産をはじめとする多数の歴史的資産が残るなど、町全体を屋根のない博物館としてとらえる「萩まちじゅう博物館構想」を推進できる日本を代表する都市遺産としての観光地である。また、単に歴史的な資産を見るだけでなく、本物の歴史「萩物語（ストーリー）」に、じっくりと触れる「学ぶ観光」に適した観光地である。

■歴史や伝統的建造物などの文化的な観光資産を有する萩市は、自然遺産の宝庫でもある。

「ジオ」の切り口で新たな萩市の魅力を発見する取組みとして、「火山に育まれた萩の大地3億年の歴史を学び、今に活かし、未来へ伝える」をキャッチフレーズに、平成29年度に日本ジオパーク認定を目指す「萩・ジオパーク構想」の取組を進めている。

■こうした萩市の歴史・文化・自然を解りやすく紹介し、萩観光の起点となる「萩・明倫学舎（仮称）」を、明治維新150年記念事業により平成29年春の開設を目指して整備し、「学ぶ観光」の充実を図る。

地域の声

■山陰道は、地域の産業振興、観光交流の促進など、地方の地域づくりを進めるためには、欠くことのない重要な路線である。【平成27年度山陰自動車道（益田～萩間）整備促進決起大会 意見発表抜粋】

整備効果

■山陰道の整備により、萩市へのアクセス時間が短縮され、ポテンシャルが高い萩の資産を活用した観光振興を図ることができる。

萩・明倫学舎（仮称）の開設による「学ぶ観光」の充実

■世界遺産「明治日本の産業革命遺産」を構成する萩の5資産



■平成28年度に日本ジオパーク認定を目指す「萩・ジオパーク構想」の自然遺産



■萩の歴史・文化・自然を紹介し、萩観光の起点となる「萩・明倫学舎（仮称）」を整備

【萩・明倫学舎（仮称）の概要】

- ・開設予定 平成29年春以降順次
- ・明治維新150年（2018年）記念事業として整備
- ・国の登録有形文化財となっている旧明倫小学校校舎を活用し、校舎の趣を残した建物で「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の価値などを解りやすく、楽しく解説する。
- ・「萩・ジオパーク構想」をはじめとする萩の豊かな自然遺産・文化についても解説するとともに、歴史的価値が高い貴重な幕末歴史資料を展示公開する。
- ・その周辺は、江戸時代の藩校（萩藩校明倫館）の景観を復元することを目指し、歴史的な遺産を移築整備を進める。
- ・萩観光を満喫するために萩の魅力を伝える萩観光の起点施設として整備。



観光

◆海外からの観光客誘致も含めた、萩の魅力の発信強化による新たな観光戦略

現 状

- 城下町の面影を色濃く残し、豊かな自然や食材にも恵まれている萩市は、映画「長州ファイブ」や大河ドラマなどの舞台となったことをはじめ、CMの撮影舞台としても魅力的なまちである。
- 明治維新胎動の地と称される萩市には、近代日本の礎を築いた豊富な人材に加え、都市遺産や明治維新関連遺産、自然など、魅力的な資源に恵まれている。こうした萩市にしかない財産を様々な切り口から記述したブックレット形式の「萩ものがたり」を定期的に出版するなど、萩ブランドの発信強化に取り組んでいる。
- 「萩まちじゅう博物館構想」の取組が海外で高い評価を受けていることや世界文化遺産登録を契機に、海外への情報発信を強化し、萩の知名度の世界的向上を図っている。
- 国際貿易港「萩港」を有する萩市には、国内はもとより海外のクルーズ船も寄港するため、海外からの観光客にも萩の魅力を中心に楽しんでいただけるように、国際交流員を配置し、海外の視点を取り入れたおもてなしの充実に努めている。

地域の声

- 歴史・文化・自然・食・温泉など萩の魅力をホームページ・SNSなどを通じて発信するとともに、年間を通じて様々なイベントを開催し、観光客誘致に努めている。山陰道が整備されることにより更なる観光ルート開発も可能となるとともに、アクセスが短縮されることから観光客増加が期待できる。【萩市観光協会】

整備効果

- 萩市では、国内はもとより海外に向けても様々な取組を通じて「萩ブランド」を発信し、萩の資産価値を高め、観光産業を萩の創生（地方創生）の主要な産業とすることを目指している。山陰道の整備により、萩の創生を現実のものとするのが期待される。

萩ブランドの発信強化と海外からの観光客の受入体制の充実

■ロケーション誘致活動

映画・ドラマ・CMなどの撮影地となることにより、マスメディアへの露出が大幅に増え、萩市への注目度が飛躍的に高まることから、ロケーション活動を積極的に誘致する。

また誘致にあたっては、「萩ロケ支援隊（フィルムコミッション）」により、積極的に撮影を支援する。

【萩市で撮影された主な作品】

- ・テレビCM 大和工業株式会社 共生創生「萩市・伝える編」
- ・NHK大河ドラマ「花燃ゆ」

※「NHK大河ドラマ『花燃ゆ』×山口県・萩市」は「第6回ロケーションジャパン大賞」特別賞を受賞

- ・映画「八重子のハミング」
- ・映画「長州ファイブ」
- ・NHK大河ドラマ「八重の桜」
- ・NHK特集ドラマ「はじまりの歌」など

■海外におけるまちじゅう博物館の取組

JICAとの協力により、ヨルダン国サルト市において「サルトまちじゅう博物館構想」の推進に協力。この取組の内容は、NHK「おはよう日本」でも取上げられた。

こうした海外における取組を広くメディアを通じて発信し、萩ブランドを向上させることにより、観光客の誘致を図る。



ヨルダン国サルト市訪問団が来萩
(平成26年8月)



萩市長 ヨルダン国サルト市を訪問
(平成26年10月)

■観光客船の受入

平成27年は県内最多の8回のクルーズ船が寄港。国内最大のクルーズ船「飛鳥II」をはじめ「ぱしふいっく びいなす」「にっぽん丸」、外国船は、米国の豪華探検船「シルバー・ディスカバラー」、英国の「カレドニアン・スカイ」が寄港し港のイメージアップや経済波及効果に期待。

クルーズ船寄港後は、山陰道を活用し、山陰地域に点在する主要観光地をバスで巡るツアーなどを提案しクルーズ船の誘致に積極的に取組む。

平成27年4月11日産経新聞

「花燃ゆ」クルーズ船呼ぶ
山口県 誘致を活性化

三方港に舞った山陰道クルーズ船が沸騰している。10日は、下関港に今年初となる「カレドニアン・スカイ」英国、定員144人が寄港し、歓迎式典が開かれた。昨年3回だった日本船の訪港も、大河ドラマ「花燃ゆ」効果で、今年は8回の寄港が予定されている。県は平成30年の明治維新150年に向け、誘致を活性化し、県全体で年間20回の寄港を目指す。(特約記者)

県は26年4月に観光会社「百」に、今年中の世界遺産登録「山陰道」を誘致する「山陰道クルーズ」を提案し、現在、山口県内では「飛鳥II」が唯一のクルーズ船受け入れ先として機能している。現在、山口県内には、観光客の誘致に力を入れている。現在、山口県内には、観光客の誘致に力を入れている。現在、山口県内には、観光客の誘致に力を入れている。

◆道の駅の機能強化・萩製品のブランド化による地場産業の振興

◆企業誘致の推進による萩経済の活性化

現状

■萩市には、国土交通省から優れた実績を評価され「全国モデル道の駅」に選定（全国で6か所の選定）された「萩一まと」をはじめとして、7つの道の駅がある。道の駅は、雇用創出や経済の活性化にも大きな効果があると同時に、観光の拠点施設である。

■萩市は、萩焼や地酒など全国に通用するブランドを有するとともに、豊富な海の幸、山の幸をベースとした地場産品に恵まれている。萩製品のブランド化、優良かつ特色のある萩産品を首都圏などの大消費地にPR・拡販する「地産他商」に取り組んでいる。

■企業誘致は、従業員の家族を含めた定住による市内での消費拡大等の経済波及効果は大きいことから、萩市企業立地奨励金制度や萩市起業化支援補助金を創設し、起業や企業誘致に取り組んでいる。こうした中、迅速かつ円滑な物流を実現する高速道路網の整備が求められている。

地域の声

■地域の産業振興、観光交流の促進など、地方の地域づくりを進めるためには、欠くことの出来ない重要な路線である。【平成27年度山陰自動車道（益田～萩間）整備促進決起大会発表抜粋】

整備効果

■山陰道の整備により、東西の流通が飛躍的に改善され、製品の輸送に要する時間が短縮できることで市場における価値が向上するとともに、企業においても製品の輸送が容易になる。更にインターチェンジ周辺には企業の進出が促進され、地域経済の活性化が期待される。

萩ブランドを活用する取り組みにより、産業振興に寄与！

■道の駅を拠点とした地場産業の振興

道の駅は、地域の特産品を中心に品揃えした地産地消の拠点であるとともに、観光の拠点施設でもあることから、WEBサイトを活用した情報発信に取り組むとともに、外国語標記された観光パンフレットや案内サインを充実し、観光拠点機能の強化に取り組む。



萩一まと

萩一まととは、年間158万人（平成27年）が訪れる。萩漁港に隣接し、水揚げされた魚を販売するとともに農産物なども販売している。イベントも年間を通じて開催し観光客も多く訪れる。



萩・さんさん三見

山陰道（萩・三隅道路）明石PA内にある道の駅「萩・さんさん三見」。季節ごとのイベント開催などが功を奏し、県内の道の駅で最も滞在時間が長い（滞在時間83分）
※平成27年中国地方整備局調査

■萩製品のブランド化と販路の拡大

萩の産品に付加価値を付け、市場で優位性を示した成功例として、金太郎を使った「オイル・ルーージュ」がある。こうした地場産品をブランド化する取組とともに、高級食材店舗での物産展の開催、首都圏への販路開拓に取り組む。

また、萩ブランドの知名度向上により「食による観光」を推進する。

更に、萩ブランド産品「千石台だいこん」を香港に輸出し始めたことを成功例に、展示・商談会を通じて、萩ブランドの輸出拡大に取り組む。



萩たまげなす



山口あぶとまと



千石台だいこん



ローマ法王にも献上された金太郎の「オイル・ルーージュ」

■企業誘致の推進

平成24年度から市が企業誘致施策として取り組んできた金属製品メーカーのトーフレ株式会社（本社：大阪市）が萩市へ進出を決定し、平成26年6月に工場開所式が行われた。

新工場は、トーフレ株式会社が保有する国内3工場を集約し、操業開始時90名体制の人員で運営され、今後は規模拡大も含めて150名体制まで雇用の拡充が計画されている。これにより、雇用機会の増加に伴う定住促進、市内の消費効果等による経済波及効果など、萩市経済の活性化が大いに期待される。

山陰道の整備は、企業に必要な原材料の調達や製品の輸送等を容易にすることからインターチェンジ周辺に商工業活動が活発化するとともに、誘致企業の増加が期待できる。



萩市・トーフレ進出協定調印式

救急体制の充実・強化

◆休日急患診療センターによる初期救急対応と2次救急医療体制の堅持による救急体制の充実・強化戦略

現状

- 重症患者は遠方の二次救急病院でしか高度医療サービスや救命救急医療サービスを受けない。
- 萩市街地へ向かう国道191号は、海岸線沿いに視界の悪い急カーブが連続し、トンネルが多く、交通事故多発箇所(小畑漁協付近、大井橋付近)が存在し、道路幅員にも限界があるため、事故発生時には、警察車両、消防車両等が混在し、救急隊員が2次災害に巻き込まれる危険性が高まる。
また、行楽行事等での交通渋滞とも重なれば、更なる交通事故を誘発させる可能性もある。
このため、信号がなく渋滞や事故等が起こりにくい高規格道路が必要となる。

地域の声

- 平成27年8月26日にも、気象条件の影響から国道191号線、阿武町宇田郷駅前付近で越波により通行止めとなり、救急車で市内の病院に搬送する際にも、遅延した救急事案が発生した。命をつなぐ道路として山陰道整備は急務と考える。【平成27年度山陰自動車道(益田～萩間)整備促進決起大会意見発表抜粋】

整備効果

- 山陰道の整備は、搬送時間の短縮効果、振動低減効果に加え、安全・定時・定速・安定走行支援効果として、救急患者を受け入れる医療機関との連携を円滑にし、救命率の向上に大きく寄与する。

山陰道を活用した救急医療体制の充実・強化

■休日急患診療センターの整備による医療提供体制の確保

萩市では、医師不足と医師の高齢化などにより、救急医療をはじめとする地域医療提供体制の維持が困難となりつつある。こうした中でも、医療従事者の確保に奔走し、地域医療提供体制を堅持している。

その一方で、休日の一次医療を担う「萩市休日急患診療センター」を平成25年に開設した。



萩市休日急患診療センター

■山陰道の整備による救急医療提供への効果

国道191号経由の搬送時間は、阿武町から萩市街の第2次救急医療機関まで38分(約3.1km)、須佐・田万川地域から益田市街の第2次救急医療機関まで38分(約3.7km)の時間を要するとともに、交通事故が発生し通行止めになった場合、江崎・須佐地域・阿武町から萩方面に向かう一般車両は長時間の通行止めを受ける可能性がある。阿武町宇田郷郷での救助事案の際は、事故処理の間1時間も通行不能になった。



国道191号 大井地区
交通事故・渋滞状況
大井橋交通事故
大型トラック横転状況



国道191号 田万川地域
トンネル内事故状況
田万川トンネル内交通事故
救助工作車出動状況

■国道191号経由の救急搬送実態(平成27年)

※資料提供 萩市消防



◆新たな行政サービス手法の導入による効果的・効率的な行政サービスの実現

現状

■萩市の厳しい財政状況の中、組織のスリム化や職員の計画的な削減等により効率的な行政運営に努めている。一方で、市民に身近な行政サービスは、市民に最も身近な自治体において取組むこととし、権限移譲に積極的に取り組んできた。

しかしながら、高齢化が著しく進み、複雑多様化する行政需要に対応するため、新たな行政サービスの手法を取り入れることが必要となっている。

■過疎化が進み、低密度な市街地が形成されつつあり、生活サービス機能の維持が困難となることが懸念されている。



地域の声

■萩市民にとっては、西側の萩・三隅道路開通で高速道路の利便性、有益性を再認識しましたので、東側の山陰自動車道の建設に対する気運も一層高まっています。【平成27年度山陰自動車道（益田～萩間）整備促進決起大会 意見発表抜粋】



整備効果

■山陰道の整備により、隣接自治体間の移動時間が短縮されること、また自治体内での移動時間も短縮されることにより、新たな行政サービスの手法を構築することができる。

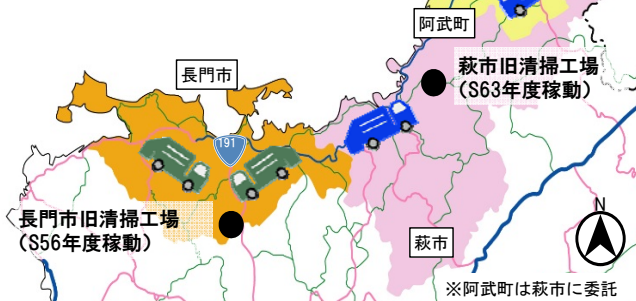
山陰道を活用した新たな行政サービス手法の実現

■山陰道（萩・三隅道路）を活用した長門市との広域行政サービスの実現

山陰道（萩・三隅道路）の開通により萩市・長門市間の移動の利便性が向上したことで、萩市と長門市による可燃性ごみの共同処理が実現。人口の減少、厳しい財源状況などの共通の課題を抱える両市にとって画期的な取組み。

単独処理（H27年3月まで）

- ・各施設の老朽化（約30年経過）が進み、建替えが必要な状況
- ・環境基準を満たすための設備投資が必要
- ・人口減少下で効率的な処理体制が必要



共同処理（H27年4月から）

- ・最新技術の導入および環境負荷の軽減、建設費・維持管理費の縮減が実現
- ・工場の集約でゴミ収集車の搬送距離が長くなった地域があるものの、**萩・三隅道路の利用で単独処理時と同じ搬送回数を確保。**



■生活サービス機能の堅持と新たな行政手法

萩市では、市街地を中心拠点として都市機能を集約するとともに、周辺地域においては買い物や通院等の日常生活に必要な機能を公共施設などの地域拠点に集約することによって、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めている。

具体的には、周辺地域においては、行政サービスの拠点として配置している総合事務所に、JAや社会福祉協議会の機能を集約し、住民の日常生活に欠かせない買い物、福祉相談等のサービスを1箇所で提供できる取組みを行っている。

こういった市街地を中心拠点とし、周辺地域には日常生活に必要な機能を公共施設などに集約する取組には、中心拠点と周辺地域を円滑かつ迅速に移動できる山陰道の整備が必要である。

【山陰道の整備による短縮移動時間】



2-03.

山陰道

SAN-IN EXPRESSWAY

×

長門市

Nagato City

観光

【長門市】

◆西は九州方面、東は出雲方面からの国内客、さらには、北九州空港、関釜フェリーからの外国人観光客を、観光資源の宝庫「北長門海岸国定公園」や「長門温泉郷」へ誘導促進

現状

- ・山陰路には北長門海岸国定公園の豪壮な海岸美に加え、昨今さまざまなメディアに取り上げられている角島大橋、元乃隅稲成神社、東後畑の棚田など、観光客に人気の景観地を有している。
- ・星野リゾートが湯本温泉へ進出することが決定し「湯本温泉マスタープラン」では、インバウンドを積極的に取り込むため、SNSの情報発信に不可欠な景観の創りこみに言及している。

地域の声 (H26観光地へのアクセスに関するアンケート)

- ・長門市は高速道路もなく、鉄道本数が少なく便利が悪いと思う。観光どころではなく過疎がますます進行するのではないかと不安になる。

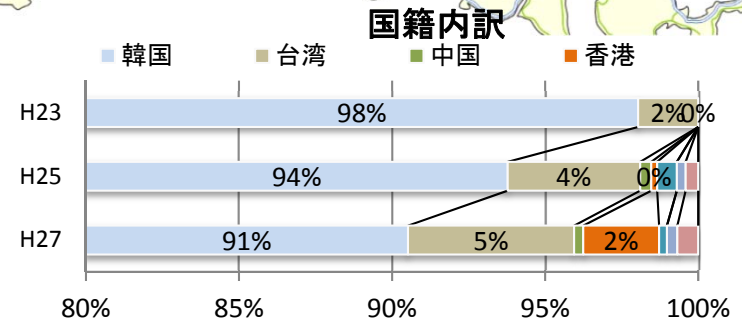
整備効果

- ・山陰道の整備により、長門～下関間のアクセス時間が短縮され、新たな観光ツアーの企画が創出される。これにより、九州方面からの観光交流が促進され、インバウンド施策としても、現在主流の東アジアのみならず長期観光滞在型の欧米諸国への拡大も期待できる。
- ・長門市は北浦観光において、東の萩市、西の角島、南の秋吉台まで、いずれも車で30分圏内にあることから、山陰道の整備により、広域観光の周遊性も向上する。

山陰道を活用した広域観光・インバウンドの取り組みにより、観光振興に寄与！



下関から長門方面のアクセスが容易に!!



◆本県北西部の観光拠点である角島大橋や元乃隅稲成などから観光客を俵山温泉や湯本温泉へ誘導促進

現 状

- ・本県北西部には角島大橋、元乃隅稲成神社などのキラコンテンツを有し年々多くの観光客が訪れている。しかし、高速道路ネットワークから取り残された結果、俵山温泉、湯本温泉への回遊へ繋がっていない。

地域の声(観光地へのアクセスに関するアンケート)

- ・美しい国道191号の海岸線を北上し、角島まで観光に行きますが、俵山温泉さらには湯本温泉まではなかなか遠いので足を運べない(北九州市在住)

整備効果

- ・県道美祢油谷線の整備により、山陰道へのアクセスが強化され、移動時間の短縮効果により、広域的な観光連携に繋がりが、回遊性が向上する。

県道とのネットワーク強化により広域観光連携を実現！！

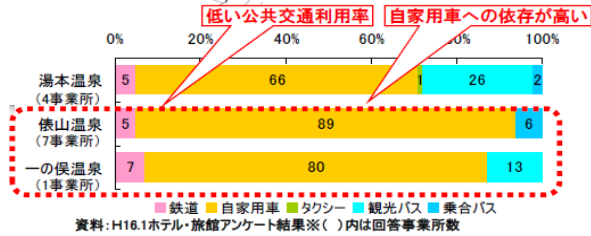


◆山陰道開通の期待から新規企業が参入

現状

- 温泉宿泊客の交通手段は自家用車への依存が高いが高速道路ネットワークから取り残されているため、九州圏から観光客を十分取り込めていない。
- 湯本温泉の観光客数は平成6年～平成26年の20年間で▲40.4%の大幅減少。

【温泉施設宿泊客の利用交通手段】



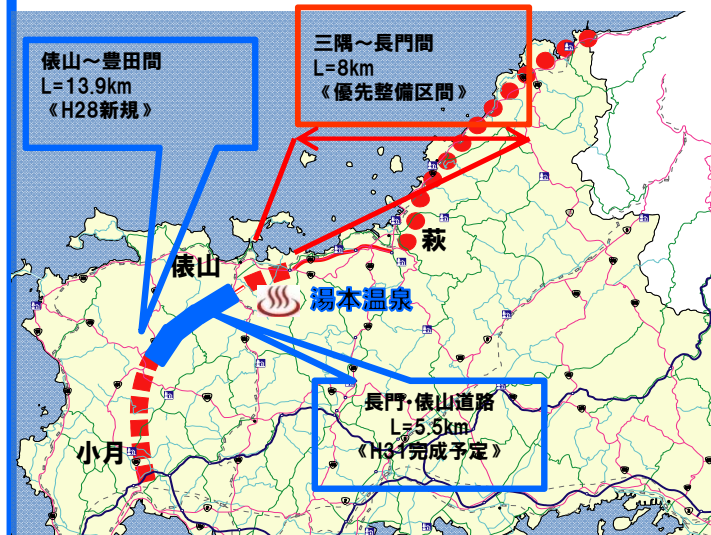
地域の声(湯本温泉旅館協同組合青年部長)

- 星野リゾートの進出による湯本温泉の底上げと山陰道整備による誘客の増加に大きな期待をしている。

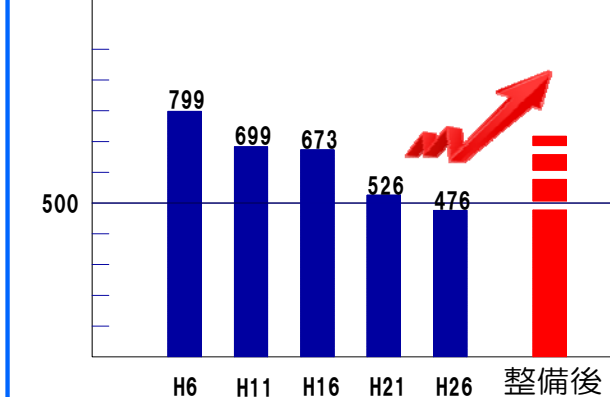
整備効果

- 山陰道の整備による交通アクセスの向上から、新たな企業進出が期待できる。

山陰道整備により企業進出に期待！ 湯本温泉に星野リゾートの進出が決定！！

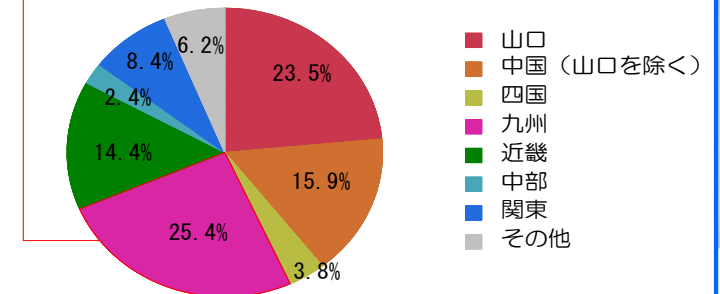


【湯本温泉観光客の推移】



【湯本温泉宿泊者数の内訳】

九州・沖縄が約1/4



- ◆水産物の陸送輸送における流通の利便性向上及び流通コストの削減
- ◆他地域とのアクセス向上による販路開拓

現状

- ・市内の14漁港で水揚げされる多品種の魚介類は、仙崎地方卸売市場に一元集荷され、買受業者（仲買）が自社トラックや運送業者を利用し出荷している。
- ・都市圏への定期輸送が確立されていないため、高値で取引されないことから、年々水揚げ高が減少している。

地域の声（仲買業者）

- ・山陰側は高速道路がなく、運送に時間、労力、コストがかかる。
- ・萩・三隅道路の開通により、仙崎漁港と萩漁港のアクセスが容易になったことで、都市圏向けの大口受注が可能になった。

整備効果

- ・山陰道の整備により、水産物の輸送ルート（定期便）の構築が期待され、鮮魚の鮮度保持による高付加価値化と大都市圏への販路拡大に繋がる。
- ・山陰側（北浦）には、長門市、萩市、下関市と各地域でケンサキイカをブランド化している。山陰道の整備により、3市が連携したPRが可能となる。
- ・アクセスの利便性が増すことにより、九州圏からの観光客が増え、水産物の需要拡大が図られる。

流通の利便性向上により、水産業の振興に寄与！

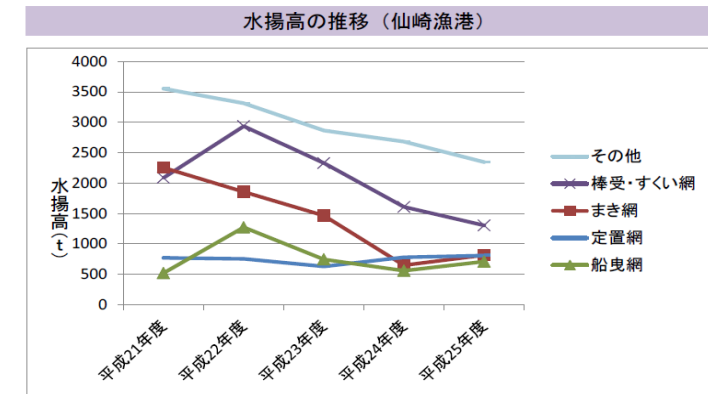
山陰道の整備



水産業の活性化



●仙崎漁港の水揚げ高の減少



地域活性化(仙崎グランドデザイン)

【長門市】

◆仙崎地区を核に長門市全域の活性化を図る仙崎地区グランドデザインを策定し、交流拠点施設整備(直売所・道の駅)、まちなみ整備、ウォーターフロント整備に着手。山陰道の整備による更なる交流人口の拡大。

山陰道を活用したアクセスの取り組みにより、地域活性化に寄与！

現状

- ・長門市は、水産業と観光業の町として発展してきた。
- ・仙崎地区は、近代捕鯨の発祥の地、大戦後の引揚地、童謡詩人金子みすゞさんの誕生の地、海上アルプス青海島など数多くの地域資源を有している。
- ・仙崎漁港は県内3位の水揚げを誇り、水産加工業が盛んであったが廃業される水産加工業者も出ている。
- ・金子みすゞ記念館や青海島観光汽船の観光施設があるが観光客が減少傾向にある。

●仙崎地区への観光客の減少



交流人口拡大を契機に、空き店舗、空き家の活用による商店街の再構築、民間投資の拡大



交流拠点施設(道の駅)
平成30年オープン予定

直売所 平成29年秋オープン予定

ウォーターフロント整備

青海島観光汽船

クルーズ船寄港

仙崎地区を交流拠点として整備

九州圏からの来訪者拡大

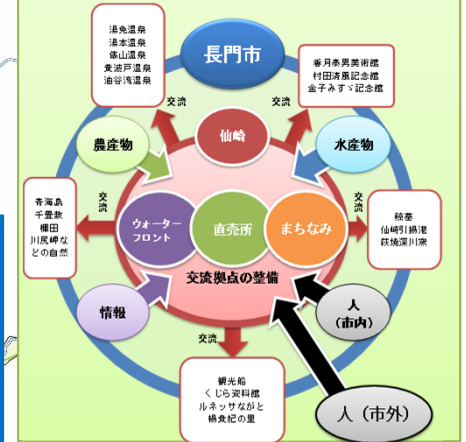
交流人口拡大の目標
現状 20万人(H27)

目標 39万人(H32)

仙崎地区グランドデザイン

【基本方針】

『風 こだまするまち 仙崎』をコンセプトに、本市の交流拠点の核を仙崎地区とし、同地区における施設整備等により、さらなる交流人口の拡大を図り、「仙崎から市内各地へ」の流れをつくる。



地域の声

道の駅シンポジウムアンケート(H27年度)

- ・交流拠点整備と併せて、高速道路からのアクセスが必要である。
- ・福岡県からの日帰り客は角島までが多い。長門市にも足を運んでほしい。

整備効果

- ・山陰道が整備されると、九州圏からの交流人口の拡大が期待できる。
- ・水産物などの生鮮食品の物流に大きく貢献できる。
- ・地域経済の活性化により、民間事業者による新たな投資が期待できる。
- ・交流拠点施設(直売所)で農水産物の販売による第1次産業の所得の向上と後継者対策、さらには、6次産業化による雇用の創出を早期に実現できる。

- ◆救急医療の支援
- ◆災害時の広域的な代替ルートの確保

現 状

- ・本市には第3次医療機関がなく、重篤な患者はドクターヘリでの搬送が不可欠となっている。
- ・救急車による搬送は、現道では速達性が不十分で線形不良により安定搬送に支障が生じている。
- ・下関市と災害相互応援協定の効果発現には災害時の代替ルートの確保が必要である。



▲長門市徳山大羽山
【H24.2 被災状況】



▲長門市徳山
【H25.7 被災状況】

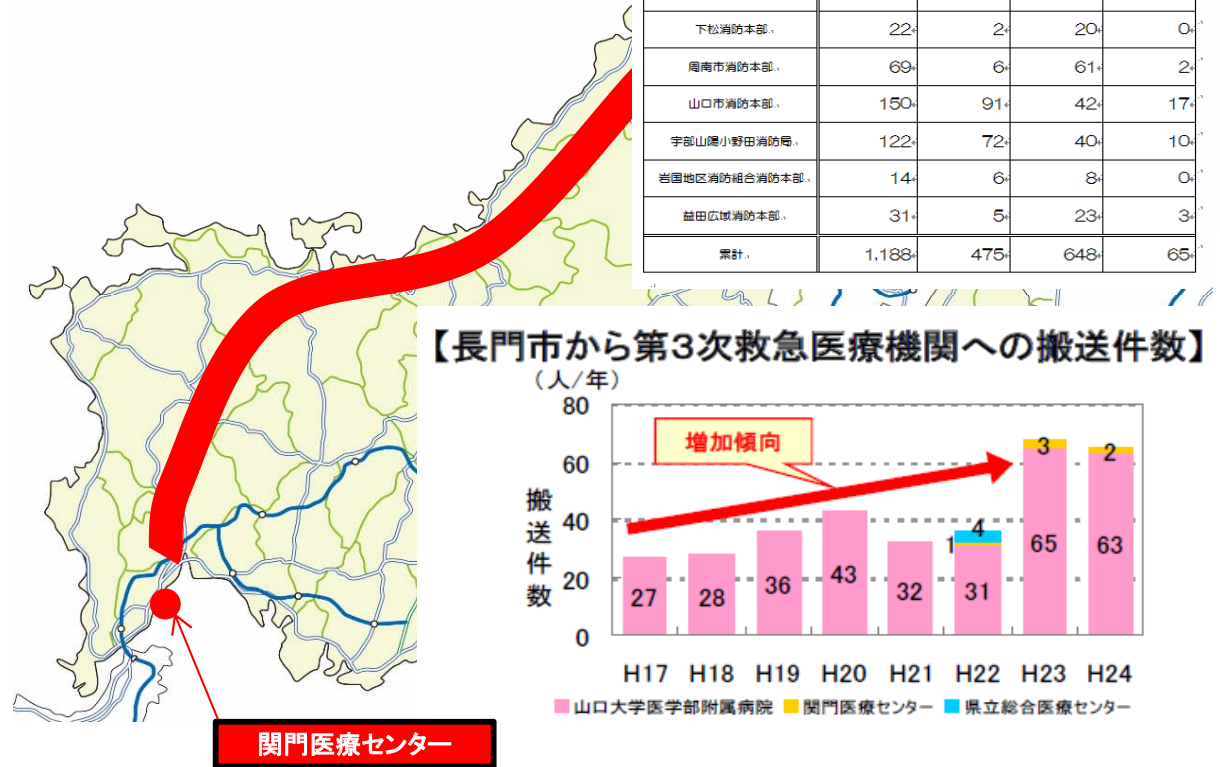
地域の声(長門市消防本部消防長)

- ・山陰道の整備により、24時間、天候不良でも救急車による安定搬送が可能となる。1日も早い開通を期待している。

整備効果

- ・第3次救急医療機関へ速達性が確保できる。
- ・災害時緊急輸送路の信頼性が高まり、広域的な支援が可能となる。

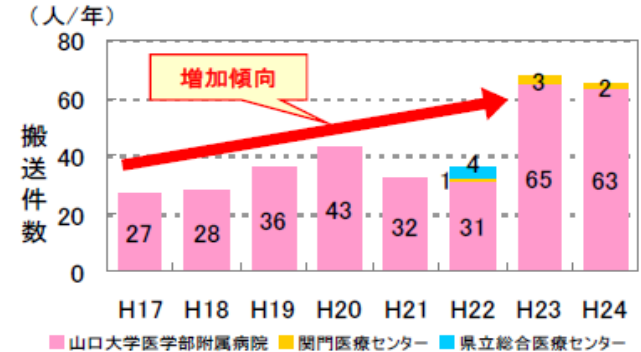
山陰道整備により災害支援・救急医療の速達性向上



ドクターヘリ消防本部別出動割合
(平成23年1月21日～平成28年1月31日)

消防本部	出動件数	出動件数内訳		
		現場出動	病院搬送	途中キャンセル
下関消防局	133	56	76	1
長門市消防本部	211	48	160	3
美祿市消防本部	134	111	18	5
萩市消防本部	173	36	127	10
防府市消防本部	37	2	34	1
柳井地区広域行政事務組合消防本部	57	15	37	5
光地区消防本部	35	25	2	8
下松消防本部	22	2	20	0
尾南市消防本部	69	6	61	2
山口市消防本部	150	91	42	17
宇部山陽小野田消防局	122	72	40	10
岩国地区消防組合消防本部	14	6	8	0
益田広域消防本部	31	5	23	3
累計	1,188	475	648	65

【長門市から第3次救急医療機関への搬送件数】



世界大会等キャンプ招致のレガシーを活用したラグビー拠点整備 【長門市】

◆ トップチームのラグビートレーニング施設、西日本ラグビー交流拠点とするため、中国地区、関西、四国、九州からのアクセス性を向上

現状

- ・長門市では、現在、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ招致を目指し、「世界大会等キャンプ招致基本計画」を策定。それぞれのガイドラインに従った施設整備などを計画しているが、各大会後は、最大のレガシーとなる整備施設を活用した、ラグビーのトップチームのトレーニングの場、また、西日本のラグビー交流拠点を目指す。
- ・メインとなる俵山スパスタジアムは、天然芝、人工芝2面の専用グラウンドを有し、周辺には俵山温泉や湯本温泉などの合宿に最適な温泉旅館、体育館やプールなど合宿等のトレーニングに最適な環境が整っている。

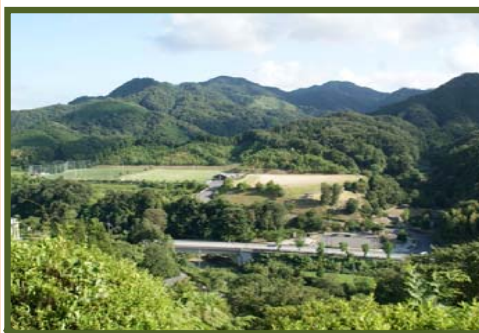
関係者の声 (世界大会等キャンプ招致基本計画策定ヒアリング)

- ・日本代表コーチングスタッフより
トレーニングには最適な環境。あとは試合会場とのアクセスや、空港、新幹線駅からの時間短縮が課題である。
- ・トップリーグ関係者より
チーム拠点からのアクセス、また、グラウンドや旅館、体育館等との接続時間短縮が必要である。

整備効果

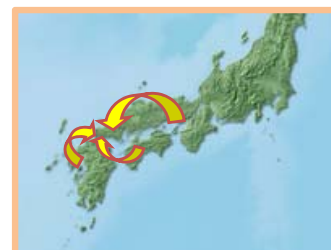
- ・関西、四国、九州からのアクセスの向上
中国地区からはもとより、関西、四国、九州圏からのアクセス改善により、複数のトップチームが参集可能な施設となる。また、福岡や広島などの試合会場への必要時間短縮により、直前合宿も可能な環境を造成できる。
- ・空港や新幹線駅からのアクセスの向上
渋滞等の影響無く、必要時間が計算できる経路が確保される。
- ・市内外の体育館やプール施設等の結線時間短縮

山陰道を活用したラグビー交流拠点化により、地域経済・観光振興に寄与！



俵山スパスタジアム

長門市世界大会等キャンプ招致基本計画に従い、既存の施設に、レフェリールームや医務室を備えたクラブハウスや、夜間照明など附帯設備を増強し、世界大会等キャンプ招致が可能な施設整備を平成30年度までに実施する。その後は、複数のトップリーグや大学、高校チームが交流できる西日本のラグビー合宿拠点としての活用を目指す。関西、九州地区からのトップリーグや大学合宿は勿論、島根県や広島県、四国、九州の高校チームを招致する。



世界大会等キャンプ招致活動を通じて、関西圏、四国圏及び九州圏から、あらゆる年齢層の多くのラグビー関係者が集うイベントや合宿等の開催を計画し、競技スポーツにも生涯スポーツにも対応する「西日本ラグビーの拠点」となる施設を目指す。



東平尾公園博多の森球技場

日本チームの対外試合等が実施されるスタジアムであり、ラグビーワールドカップ2019においても、試合会場のひとつとなっている。
【現行2時間30分 ⇒ 整備後: 2時間10分】



2-04.

山陰道

SAN-IN EXPRESSWAY

×

下関市

Shimonoseki City

観光

現状

- ・角島大橋、土井ヶ浜など、有名観光地があるが、他市の観光地との連携が希薄。
- ・周辺観光地（豊田・菊川）との連携が希薄。



地域の声 (豊北町観光協会)

- ・広島や九州方面からの観光客が多いが、豊北の観光地と萩や長門の観光地を巡るツアーの増加に期待している。



地域の声 (豊田道の駅)

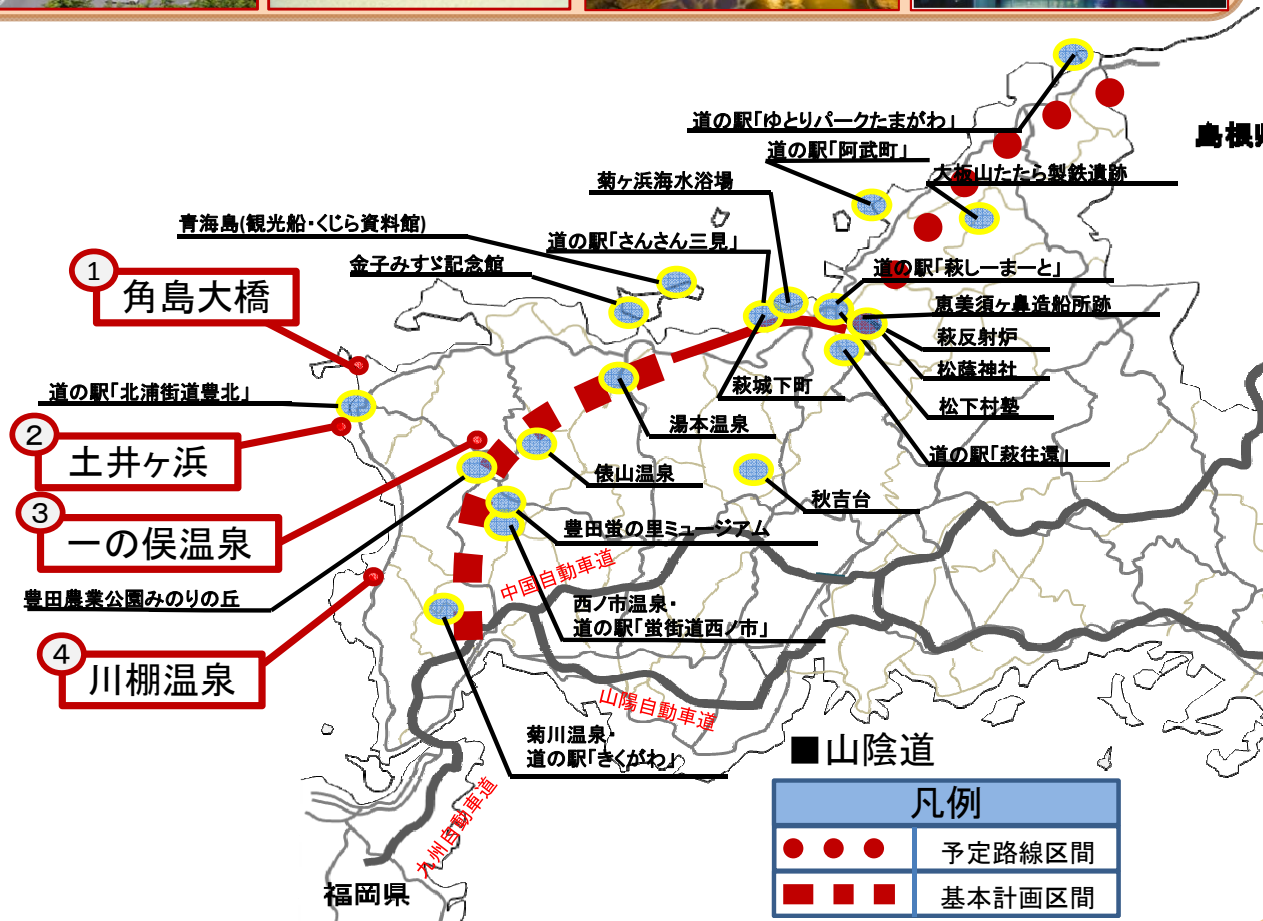
- ・山陰方面から新鮮な水産物や農産物を迅速に、大量に搬入し、品揃えを豊富にすることにより、販売が拡大されることを望んでいる。



整備効果

- ・角島大橋、土井ヶ浜等の有名観光地と他市の観光地との連携が可能となる。
- ・角島大橋、土井ヶ浜等への観光客が、山陰道を通ってくることにより、菊川・豊田の観光地との連携が可能となる。
- ・川棚温泉、一ノ俣温泉を基点とした新たな観光ルートの開拓が可能となる。（山陰地域、秋吉台、宇部、山陽小野田、下関市街地、北九州の各方面へ）
- ・山陰方面からの新鮮な水産物や農産物を迅速に大量に搬入可能となり、道の駅の売り上げが向上する。

山陰道を活用した他市との連携により、観光振興に寄与！



現状

- ・豊田・菊川地区は、山陰地域・下関市街・北九州・美祢・宇部・山陽小野田各方面を結ぶ中心に位置しており、企業立地の増加が期待されている。
- ・豊田・菊川地区は農林業が盛んであり、農林産品の流通の効率化とそれを活用した観光振興が望まれている。

地域の声 (豊田梨共同出荷組合)

- ・出荷はほぼ県内であるが、新鮮な梨を各方面に素早く届けたい。
- ・観光農園は、利便性向上により九州方面からの集客増を大いに期待している。

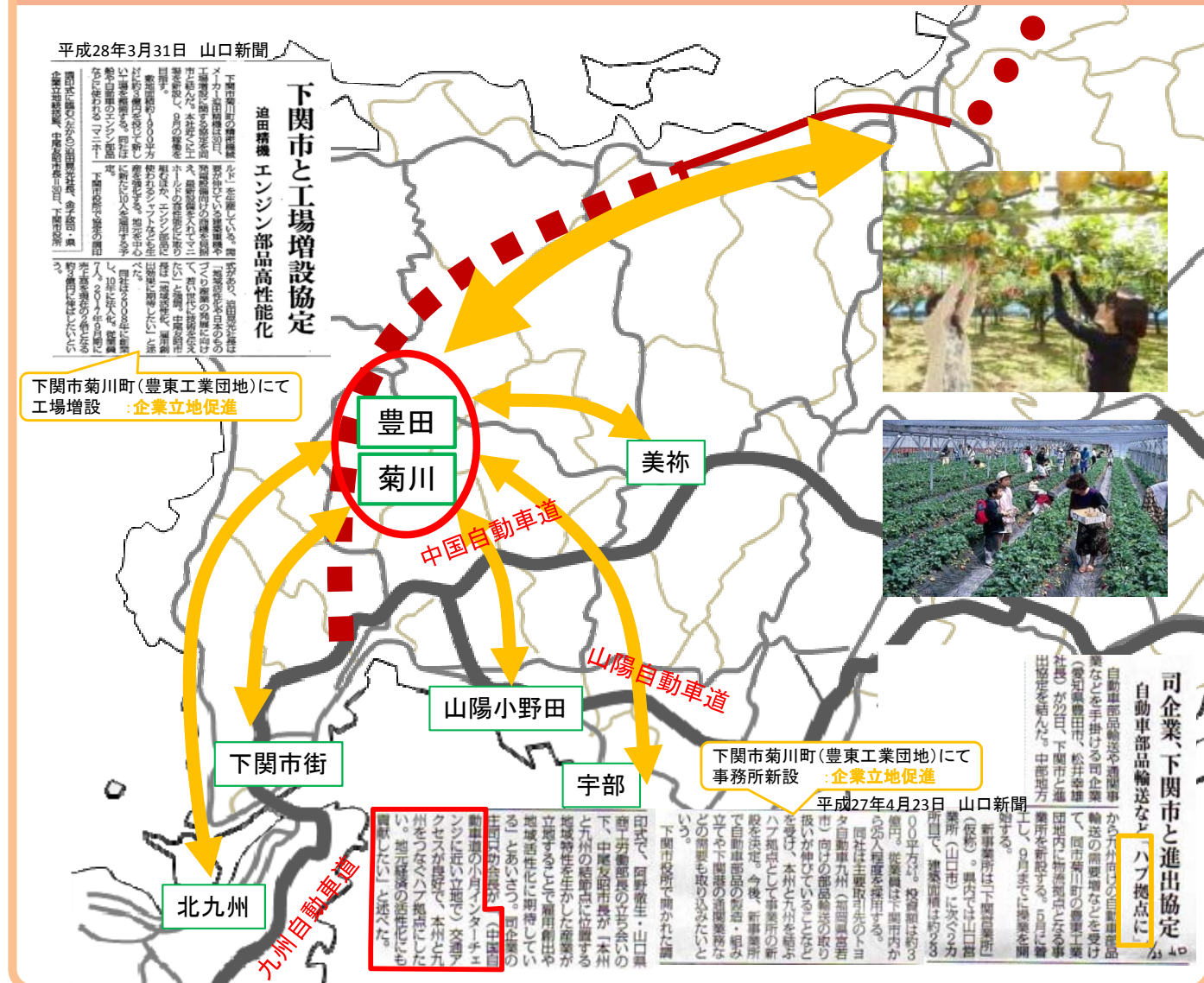
地域の声 (豊閑貨物運送(有))

- ・現道は幅員が狭くカーブが多いため、かなり走りにくい。災害時は近くに迂回路が無いので大回りをしいられる。拘束時間も長く、運転手の心身の負担が大きい。
- ・山陰道が整備され、燃料費が削減されることに期待している。

整備効果

- ・山口県西部のハブ拠点となり、各種産業や農林産品集約の拠点・企業立地・観光客増など地域経済の活性化がはかられる。
- ・豊田・菊川周辺の農林産品流通の効率化がはかれ、運送トラックドライバーの心身の負担の減少と燃料費の削減にもつながる。
- ・観光農園(梨、いちご、りんご)への利用客が増加し農業の活性化につながる。
- ・中国自動車道、山陽自動車道、九州自動車道と連携した山陰方面への高速道路ネットワークが構築される。

山陰道を活用したハブ拠点として地域産業の活性化！



現状

- ・豊田、菊川、豊北地区では、地域の幹線道路が狭隘でカーブが多く、災害時および急病時に患者を高次医療機関のある下関市街へ搬送する時間の短縮が、地域医療における大きな課題となっている。



地域の声 (豊田中央病院事務局)

- ・下関保健医療圏及び長門保健医療圏の二・三次救急医療機関への速達性が確保されていない。また、医療機関相互の連携が弱い。



地域の声 (消防局総務課)

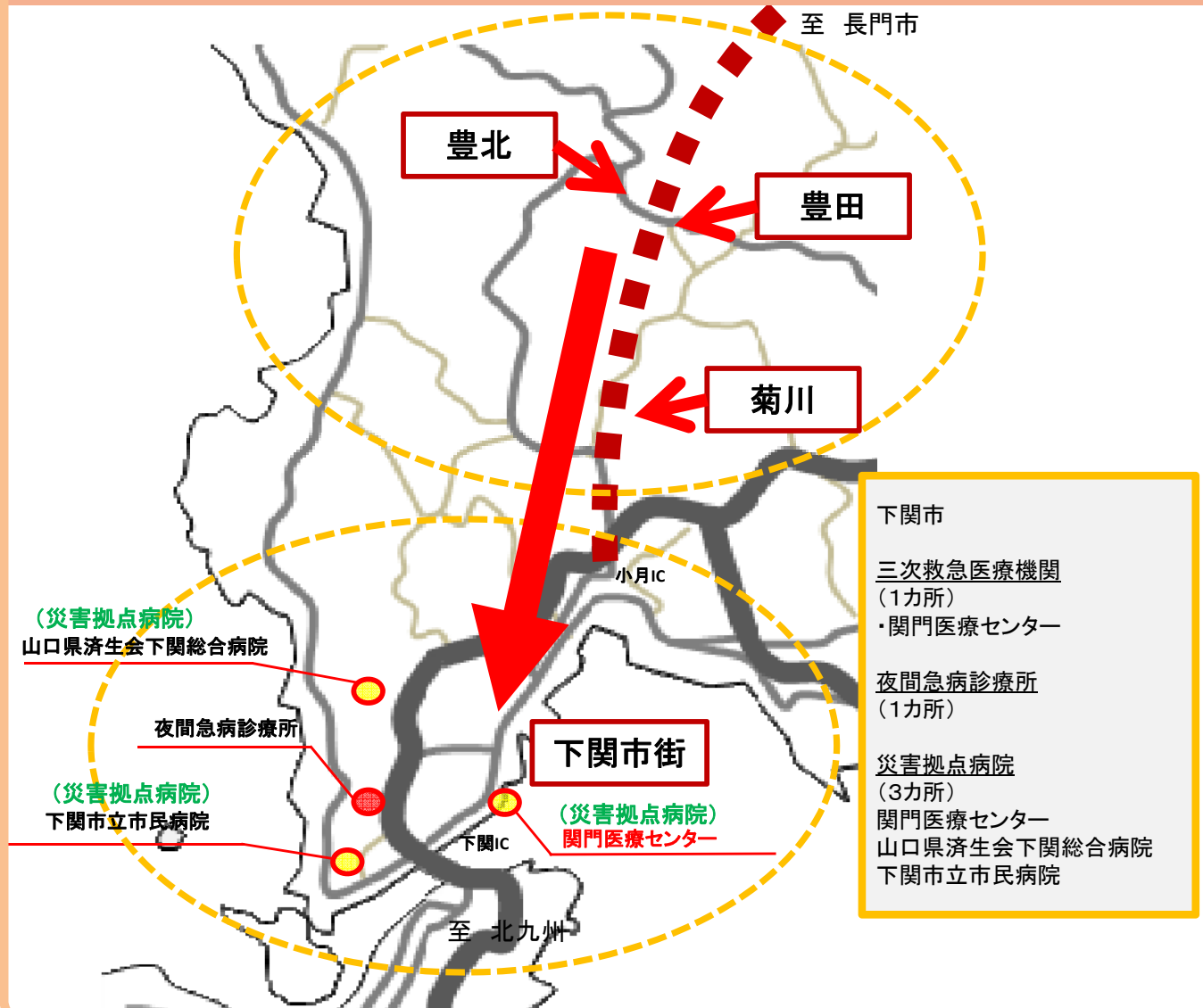
- ・豊田町・豊北町および周辺地域での災害・救急出動で旧市内の二次及び三次の救急医療機関への救急搬送での時間の短縮が課題である。



整備効果

- ・豊田・菊川・豊北地区での災害時および急病時の三次救急医療機関や夜間急病診療所、災害拠点病院への搬送時間が大幅に短縮される。
- ・医療機関相互の連携が強化される。

山陰道整備による、災害時および急病時の搬送時間の短縮！



現状

- ・大雨・台風による被害が多発している。（県道下関長門線）
- ・地域の幹線道路が、急カーブが連続し、幅員が狭い。（国道491号、県道下関長門線）

地域の声 (豊田自治連合会)

- ・幹線道路が一本しかないため、災害時の通行に支障をきたしている。旧市内や他方面の総合病院への緊急搬送も時間短縮し、安心・安全な「まちづくり」の構築を望んでいる。

地域の声 (豊田土木協会)

- ・現在幹線道路が一本しかないため、迂回などで緊急時に災害現場等への到着が遅れる。



整備効果

- ・安心・安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保される。
- ・安心・安全なまちづくりの構築ができる。
- ・災害時の緊急輸送路等の確保ができる。

山陰道整備による安心・安全な道路ネットワークの確保！

菊川で土砂崩れ
県道が通行止め
6日午前1時頃、下関市菊川町西山の県道下関長門線、山の土砂が崩れて通行を遮断しているのを通行が難しく、11時以降、山陰道は正午から通行止めとし、午後5時現在で解除の見込みは立っていない。

平成27年9月7日 山口新聞

②平成27年9月6日大雨
下関市菊川町西山
がけ崩れのため通行止め(4日間)



①平成27年8月25日台風15号
下関市豊田町殿敷
がけ崩れのため通行止め(5日間)

